

## 1 班 ワークショップ内容

### (1) 班内各意見の背景の確認

- ・「協働」、「市民参画」、「コミュニティ」のイメージについて意見交換をした。
- ・「協働」と「市民参画」については似ている部分も多いと考えられることから、「市民参画」についてを中心に意見交換をした。

#### 「市民参画」について

##### ホワイトボード板書

- ・市民参画に進んで参加していくことが参画ではないか
- ・参加して良かったと思えること
- ・特定の方の参加ではなく、みんなで参加すること
- ・個々の得意な部分を生かすこと
- ・立案から決定まで市民が参加すること（みんなで意見を出し合う）
- ・基本は町内会（町内会 振興会 地域協議会）
- ・参加する場をつくり、その場で意見を述べること
- ・参画のしくみが大切 会議ではみんなの意識が合うように足並みをそろえることが大切（企画・立案から参加することが望まれる）
- ・PDCAのしくみをつくり、事務局の決定のみにしない  
P...plan（立案、計画） D...do（実施） C...check（検証、評価） A...action（改善、見直し）
- ・一人でも多くの人から参加してもらえるしくみが大切

##### 発表内容

- ・最終的には、「市民参画」の原点は「町内会」にあるのではないかと、いう話になった。
- ・参画できる仕組みが重要であり、その担保が今創ろうとしている自治基本条例なのではないか。

#### 「コミュニティ」について

##### ホワイトボード板書

- ・町内会の現状
- ・役員の選出は選挙によって決まる
- ・嘱託員制度があった  
男性中心ではあるが、環境等に関しては女性中心ですすすめられている
- ・区長（町内会長）を中心にまとまりがあり、意識統一が図られている
- ・会議は男性中心ですすすめられている

##### 発表内容

- ・「コミュニティ」についても、「町内会」が一つの基本ではないか。

### (2) 班としてのカテゴリーの決定

- ・前回挙げた 11 項目をそのままカテゴリーとするが、「教育」については、イコール「人づくり」と考える。

市民参画	差別がない	行政との協働	情報共有	教育（人づくり）	安全・安心
住みやすさ	コミュニティ	男女共同参画	伝統・文化	自然保護	